

令和元年度 第2回羽曳野市子ども読書活動推進委員会会議録（要録）

日 時： 令和元年 11 月 19 日(火) 13 時 30 分～15 時 10 分

場 所： 羽曳野市役所 A 棟東中会議室

出席者：(委員) 河津委員、瀬戸口委員、堂山委員、遠山委員、菅谷委員、田川委員、細井委員、山下委員、山田委員、脇谷委員

(教育委員会) 高崎教育長、上野教育次長兼生涯学習室長、菰中社会教育課長補佐

(事務局) 奥野館長、岩佐課長補佐、安東

傍聴者： 1 名

次第

1.開会

教育長あいさつ、委員紹介、事務局紹介

2.議事

会長あいさつ

子どもの読書活動に関するアンケート集計結果の報告

「第3次羽曳野市子ども読書活動推進計画」素案について

パブリックコメントの実施について

3.閉会

教育次長あいさつ

意見・報告等

(1) アンケート集計結果について

- ・子どもの人口の減少が進んでいる。
- ・団体貸出は増えている。
- ・紛失や破損が心配との回答があるが、小さい子どもにとって本はおもちゃと同じ。紛失・破損の心配の解消をしてあげてほしい。
- ・利用指導など職員を派遣してほしいという意見が多い。今の図書館のスタッフは他市と比べると少ない人数で頑張ってくれていることはわかるが、要望に応えられるよう実効性のある形で計画に盛り込めないか。
- ・留守家庭児童会にテコ入れできないか。計画に盛り込むときに考えてほしい。
- ・団体に本を届ける方法を考えてもらいたい。
- ・保護者への啓発が必要と思われる。図書館が担ってほしい。
- ・アンケート結果は整理して計画書に入れたい。

(2) 第3次計画素案について

- ・第2部第1章の「2 基本目標」の内容①②③は、何年経っても変わることがないので第2次計画から引き継いで掲載する。
- ・毎年の進捗状況を推進委員会で検証する。
- ・第1部第2章4の②で、中学校の司書について記述しているが、中長期の環境の充実について考えていきたい。

- ・中学校のアンケートの設問 12 の回答⑤⑥は、中学校に司書がいればできること。
- ・第 1 部第 2 章 4 の②は羽曳野の課題だ。配置実現についてがんばります、職員を増やします、などの内容が必要だ。
- ・第 1 部第 2 章 1 の④で、中学校区ごとの支援体制についてあるが、小学校の司書が中学校に巡回するのは厳しい。
- ・小学校の図書館はずっと開いている。中学校への校区支援について、小学校図書館を閉めて中学校に行くのは支障があるので、中学校の要請に対して、小学校図書館の利用がないときに支援に行くことになる。
- ・中学校の学校図書館をどのように運用していくか？小学校と同じニーズとは限らない。
- ・第 2 部第 2 章 4 のふたつめの項目で、「ふさわしい環境の整備」とあるように、本・人の充実をしてほしい。
- ・中学校の司書の代わりに公共図書館のサポートがいるのでは？しかし公共図書館には人が少ない。それが課題では。なんらかのサポート体制が必要。
- ・計画は実行することが大事。実行のすじみちがはっきりしない。たとえば、職員を派遣して、それでどう実現できるのかが見えてこない。
- ・公共図書館の職員を派遣するとの意見があるが、役割分担も必要ではないか。学校図書館の支援は学校で考えていただければ。市内全域に専門知識で啓発するなどできることを進めてほしい。
- ・学校図書館に、先生が足を向けるような本を置くのはむずかしいのか。
→学校・公共図書館連絡車の配送システムがあるので、先生が公共図書館から借りた本を学校図書館で借りることはある。
- ・府立高校には司書がいないので連携するときに（窓口となる）相手がいらない。府立高校のことについて市の立場では言えない。
- ・YA へのはたらきかけが弱い。中学校に司書がいらないことを図書館だけががんばってもだめ。コーナーとブックリストを作っただけでは足りない。
- ・YA の対応を反映できることを盛り込むべき。中高生が読書に親しむために何を具体的に取り組むか。
- ・ダルビッシュ有文庫があり、部活特集の団体貸出などがあればどうか。
- ・親向けの啓発を積極的にはたらきかけできないか。
- ・読書が子どもにとっていい、と（漠然と）言うのではなく、具体的にこういうふうに使えることを示す。
- ・子育てに絵本を活用しましょうという具体的な提案をしてほしい。（注射を嫌がる子にはそれに関係する絵本を使う、など）
- ・図書館まで借りに行く時間がないというアンケートの回答があった。留守家庭児童会に配本を具体化できる文言は入れられないか。
- ・子ども文庫では公共図書館からかなりの本を借りている。子ども文庫を活用・宣伝する方法があれば。
- ・具体的にどうするか見えてこない。1 次・2 次計画をふまえて具体的に盛り込む必要があるのでは。
- ・具体性に乏しいという意見があるが、具体的に書きたくても難しいところもある。推進委員会を策定後も残して、検証しながら実現していくという方法がとればいいのか。
- ・数値目標を掲げるか？
→初めての計画なら数値があればいいが、第 2 次計画で掲げて検証しており、傾向もわかっているので、第 3 次では必ずしもなくてもいいのではないか。実行するために、具体的重点課題を盛り込めたらと思う。
- ・数値をあげなくてもいいと思うが、2 次計画と同じ文言は変えたい。

(3) パブリックコメントの実施について

- ・告知の市広報への掲載について、日程として厳しいことから、市ホームページ・チラシ等によりお知らせすることとする。
- ・案について、図書館課、会長、副会長、脇谷委員で検討していくことでの了解を得た。